

## 《巻頭言》

### VUCA 時代のイノベーション人材育成

理事・副学長(研究・地域連携担当)

佐野孝治

現在の社会は、VUCA 社会とも呼ばれています。VUCA とは、Volatility(変動性)、Uncertainty(不確実性)、Complexity(複雑性)、Ambiguity(曖昧性)の頭文字を取った造語で、コロナ禍や自然災害、AIなどに代表されるように、不確実な未来に対応することが極めて困難な時代になっていることを意味しています。この中であって、今年度も研究年報を刊行し成果を公表できることを喜ばしく思い、日頃より皆様方からいただいているご理解とご支援に改めて御礼を申し上げます。

さて、福島大学は、「地域と共に 21 世紀的課題に立ち向かう大学」を基本理念としています。先述の VUCA 社会において、複雑な 21 世紀的課題を解決するためには、総合知を活用した新たな価値の創出=イノベーションが不可欠だと考えています。そのために、福島大学では 2 つの大きな改革を行いました。

一つ目の改革は、社会に変革をもたらす「イノベーション人材」の養成と新しい社会づくりを提案するために、大学院改革を行いました。食農科学研究科を新設するとともに、これまでの人文社会科学系の 3 研究科を地域デザイン科学研究科と教職実践研究科に再編しました。また、共生システム理工学研究科もカリキュラムを一新しました。さらに、①専門性と学際性・俯瞰性の両立、②イノベーション・カリキュラム、③地域課題に立ち向かうプロジェクト研究など、イノベーション人材を養成できるカリキュラムに刷新しています。新生大学院は 2023 年 4 月にスタートしますが、この 4 つの研究科による知の融合によって個人と社会の Well-being の実現を目指していきたいと思えます。

二つ目の改革は、「地域未来デザインセンター」の新設です。これまで産学官連携や地域連携などに取り組んできた「地域創造支援センター」と福島の復興支援に取り組んできた「うつくしまふくしま未来支援センター」を統合発展させたものですが、まったく新しいコンセプトと機能を持っています。「共に創る・進む(ふくしまの暮らしを・地域を・社会を・人を・つながりを創る、そして未来に進む)」ことをコンセプトとして、①社会課題の解決を図るプロデュース機能、②事業開発・起業人材育成を行うインキュベーション機能、③市民活動・学びの場であるイノベーションコモンズ機能があります。

この二つの改革を広く知っていただくために「福島大学地域未来フォーラム 2022」を県内 4 か所(いわき市、会津若松市、郡山市、福島市)で開催し、多くの方に参加していただきました。また、フォーラムの各会場合わせて、16 件の研究発表を行いました。本学には、地域に根差した、未来につながる研究が数多くあります。

福島大学は、これらの研究シーズに加えて、大学全体としても一層の研究力向上を図っていきたく思います。皆さまのご理解をいただきますとともに、いっそうのご協力・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。